

公 示 用

芽 室 町 中 央 公 民 館 空 調 設 備 設 置 事 業

#REF!

都 市 經 営 課

設 計 内 訳 書								出 来 高 部 分	
工 事 名 芽 室 町 中 央 公 民 館 空 調 設 備 設 置 事 業								検 定 内 訳 書	
一 金 円 (設計・施工)								第 回	
								年 月 日	
区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金額(円)	摘 要	出来高%	金額(円)
1	純工事費		1	式					
2	現場管理費		1	式					
3	一般管理費		1	式					
4	契約保証費		1	式					
a	実施設計委託料		1	式					
5	事業価格		1	式					
	再計								
6	消費税相当額		1	式					
7	事業費合計		1	式					

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
1	1F会議室								
	ヒートポンプスリムエアコン	PKZ-ERMP80K3	1	台					
	壁付架台	PC-BJ31	1	組					
	冷媒管 シングルコイル	9.52mm	5.0	m					
	冷媒管 シングルコイル	15.88mm	5.0	m					
	断熱ドレンホース	14Φ	5.0	m					
	ドレンパイプ ND	16Φ	2.0	m					
	スリムダクト	100型	3	本					
	ウォールコーナーSW	100型	2	個					
	スリムコーナー平面SK	100型	3	個					
	端末カバーSEM	100型	1	個					
	スリムジョイントSJ	100型	2	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	5.0	m					
	ケーブル	CV5.5-4C	50.0	m					
	ブレーカー	ELB3P20A	1	個					
	電源接続		1	ヶ所					
	天井点検口		1	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	1	ヶ所					
	試験調整費	設備機械工	1.5	人					
	計								

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
2	1Fリハーサル室								
	ヒートポンプスリムエアコン	PKZ-ERMP112K3	2	台					
	壁付架台	PC-BJ61	2	組					
	冷媒管 シングルコイル	9.52mm	20.0	m					
	冷媒管 シングルコイル	15.88mm	20.0	m					
	断熱ドレンホース	14Φ	20.0	m					
	ドレンパイプ ND	16Φ	4.0	m					
	スリムダクト	100型	5	本					
	ウォールコーナーSW	100型	4	個					
	スリムコーナー平面SK	100型	6	個					
	端末カバーSEM	100型	2	個					
	スリムジョイントSJ	100型	4	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	20.0	m					
	ケーブル	CV8-4C	40.0	m					
	ブレーカー	ELB3P30A	2	個					
	電源接続		2	ヶ所					
	天井点検口		2	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	2	ヶ所					
	試験調整費	設備機械工	2.2	人					
	計								

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
3	1Fホール・展示ホール								
	ヒートポンプスリムエアコン 同時ツイン	PKZ-ERMP280H3 参考型番	2	台					
	壁付架台	PC-BJ61	2	組					
	冷媒管 シングコイル	9.52mm	20.0	m					
	冷媒管 シングコイル	12.70mm	60.0	m					
	冷媒管 シングコイル	15.88mm	20.0	m					
	冷媒管 シングコイル	19.05mm	60.0	m					
	ドレンパイプ ND	25Φ	50.0	m					
	スリムダクト	140型	4	本					
	ウォールコーナーSW	140型	2	個					
	スリムコーナー平面SK	140型	4	個					
	端末カバーSEM	140型	2	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	140	m					
	ケーブル	CT14	90.0	m					
	ケーブル	AE0.9-2C	20.0	m					
	ブレーカー	ELB3P50A	2	個					
	電源接続		6	ヶ所					
	天井点検口		4	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	2	ヶ所					
	試験調整費	設備機械工	4.4	人					
	計								

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
4	2F研修室								
	ヒートポンプスリムエアコン	PKZ-ERMP80K3	2	台					
	壁付架台	PC-BJ31	2	組					
	冷媒管 シングルコイル	9.52mm	10.0	m					
	冷媒管 シングルコイル	15.88mm	10	m					
	断熱ドレインホース	14Φ	10.0	m					
	ドレインパイプ ND	16Φ	8.0	m					
	スリムダクト	100型	3.0	本					
	ウォールコーナーSW	100型	4	個					
	スリムコーナー平面SK	100型	6.0	個					
	端末カバーSEN	100型	2	個					
	スリムジョイントSJ	100型	4	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	10	m					
	ケーブル	CV5.5-4C	40	m					
	ブレーカー	ELB3P20A	2	個					
	電源接続		2	ヶ所					
	天井点検口		2	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	2	ヶ所					
	試験調整費	設備機械工	2.2	人					
	高所作業車損料		1	式					
	計								

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
5	2F図書室								
	ヒートポンプスリムエアコン	PKZ-ERMP112K3	2	台					
	壁付架台	PC-BJ61	2	組					
	冷媒管 シングルコイル	9.52mm	10.0	m					
	冷媒管 シングルコイル	15.88mm	10	m					
	断熱ドレインホース	14Φ	10.0	m					
	ドレインパイプ ND	16Φ	8.0	m					
	スリムダクト	100型	3.0	本					
	ウォールコーナーSW	100型	4	個					
	スリムコーナー平面SK	100型	6.0	個					
	端末カバーSEN	100型	2	個					
	スリムジョイントSJ	100型	4	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	10	m					
	ケーブル	CV8-4C	40	m					
	ブレーカー	ELB3P30A	2	個					
	電源接続		2	ヶ所					
	天井点検口		2	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	2	ヶ所					
	試験調整費	設備機械工	2.2	人					
	高所作業車損料		1	式					
	計								

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
6	2F会議室1, 2								
	ヒートポンプスリムエアコン	PKZ-ERMP80K3	2	台					
	壁付架台	PC-BJ31	2	組					
	冷媒管 シングルコイル	9.52mm	20.0	m					
	冷媒管 シングルコイル	15.88mm	20.0	m					
	断熱ドレインホース	14Φ	20.0	m					
	ドレインパイプ ND	16Φ	2.0	m					
	スリムダクト	100型	5	本					
	ウォールコーナーSW	100型	4	個					
	スリムコーナー平面SK	100型	6	個					
	端末カバーSEN	100型	2	個					
	スリムジョイントSJ	100型	4	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	20.0	m					
	ケーブル	CV5.5-4C	70.0	m					
	ブレーカー	ELB3P20A	2	個					
	電源接続		2	ヶ所					
	天井点検口		2	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	2	ヶ所					
	試験調整費	設備機械工	2.2	人					
	計								

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
7	3F和室研修室								
	ヒートポンプスリムエアコン	PKZ-ERMP50LL3	2	台					
	壁付架台	CBZG-L	2	組					
	冷媒管 シングルコイル	6.35mm	15.0	m					
	冷媒管 シングルコイル	12.70mm	15.0	m					
	断熱ドレインホース	14Φ	15.0	m					
	ドレンパイプ ND	16Φ	12.0	m					
	スリムダクト	100型	7	本					
	ウォールコーナーSW	100型	4	個					
	スリムコーナー平面SK	100型	6	個					
	端末カバーSEN	100型	2	個					
	スリムジョイントSJ	100型	4	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	15.0	m					
	ケーブル	CV3.5-4C	40.0	m					
	ブレーカー	ELB3P20A	2	個					
	電源接続		2	ヶ所					
	天井点検口		2	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	2	ヶ所					
	試験調整費		1	式					
	試験調整費	設備機械工	2.2	人					
	計								

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
8	3F調理実習室								
	ヒートポンプスリムエアコン	PKZ-ERMP112K3	2	台					
	壁付架台	PC-BJ61	2	組					
	冷媒管 シングルコイル	9.52mm	10.0	m					
	冷媒管 シングルコイル	15.88mm	10.0	m					
	断熱ドレインホース	14Φ	10.0	m					
	ドレンパイプ ND	16Φ	8.0	m					
	スリムダクト	100型	3	本					
	ウォールコーナーSW	100型	4	個					
	スリムコーナー平面SK	100型	6	個					
	端末カバーSEN	100型	2	個					
	スリムジョイントSJ	100型	4	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	10	m					
	ケーブル	CV8-4C	40	m					
	ブレーカー	ELB3P30A	2	個					
	電源接続		2	ヶ所					
	天井点検口		2	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	2	ヶ所					
	試験調整費	設備機械工	2.2	人					
	高所作業車損料		1	式					
	計								

区分	名 称	規 格 寸 法	数量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要	出来高%	金 額 (円)
9	3F美術・工芸室								
	ヒートポンプスリムエアコン	PKZ-ERMP112K3	2	台					
	壁付架台	PC-BJ61	2	組					
	冷媒管 シングルコイル	9.52mm	10.0	m					
	冷媒管 シングルコイル	15.88mm	10.0	m					
	断熱ドレインホース	14Φ	10.0	m					
	ドレンパイプ ND	16Φ	8.0	m					
	スリムダクト	100型	3	本					
	ウォールコーナーSW	100型	4	個					
	スリムコーナー平面SK	100型	6	個					
	端末カバーSEN	100型	2	個					
	スリムジョイントSJ	100型	4	個					
	ケーブル	VVF2.0-3C	10	m					
	ケーブル	CV8-4C	40	m					
	ブレーカー	ELB3P30A	2	個					
	電源接続		2	ヶ所					
	天井点検口		2	ヶ所					
	機械はつり	100Φ	2	ヶ所					
	試験調整費	設備機械工	2.2	人					
	計								

芽室町中央公民館空調設備設置事業 要求水準書

2024年4月

芽 室 町

目次

第1章 総則	2
1 要求水準書の定義及び位置付け	2
2 本事業の目的	2
3 基本方針	2
4 設置対象施設	3
5 事業概要	3
6 適用法令及び基準等	3
7 要求水準書等の変更	5
8 要求水準書に記載のない事項	6
第2章 空調設備要求水準	7
1 設計業務	7
2 施工業務	9

第1章 総則

1 要求水準書の定義及び位置付け

本要求水準書は、芽室町（以下「町」という。）が「芽室町中央公民館空調設備設置事業」（以下「本事業」という。）を実施するに当たり、町が事業者に要求する具体的な水準を示すものである。なお本書は、町が事業者に要求する最低限の水準であり、本書の示す水準を上回る水準で業務を実施することを妨げるものではない。

2 本事業の目的

町は、平成25年度及び令和3年度に芽室町中央公民館の一部（1階大ホール、1階指定管理者事務室、1階ゆうゆう活動室、2階講堂、3階視聴覚室）に空調設備を設置した。本事業では夏季における利用者の利便性向上のため、芽室町中央公民館の空調設備未設置部分に空調設備を設置することを目的とする。

事業実施に当たっては、民間事業者の技術やノウハウを活かし、工事期間の短縮や財政負担等の縮減を図るとともに、空調設備未設置部分の空調環境の早期改善を図る。

3 基本方針

前項で記した本事業の目的を達成するため、以下の方針により事業を推進する。

(1) 安全で快適な室内環境の実現

利用者が安全で快適に使用できる室内環境を提供するとともに、使いやすさにも十分配慮した空調環境を実現する。また、空調設備の設置にあたっては、施設運営への支障をきたさない計画とし、常に利用者及び近隣住民等の安全に十分配慮する。

(2) 経済的で省エネルギーかつ良好な施設整備

高効率機材の導入によるエネルギーコストの縮減、良好で適切な空調設備の性能の維持、長寿命化及びメンテナンスの省力化を十分図ることが可能な設計を行う。

(3) ライフサイクルコストの縮減

空調設備の設置に係る初期費用、エネルギーコスト、維持管理費用及び機器更新費用を含めたライフサイクルコストの縮減に配慮した設計を行う。

また、法定耐用年数13年を想定した、空調設備の維持管理について、考慮すること。

(4) 環境への配慮

- ① 地球温暖化防止のため、効率的なエネルギーの利用及びリサイクル材の利用等に留意するとともに、二酸化炭素排出量の削減やフロン類の漏洩量の削減に貢献するよう、環境保全に留

意する。また、周辺地域環境に対する影響を十分検討したうえで、必要な措置を講じる。

- ② トップランナー機器の採用等を行い、消費エネルギー量を削減し、運用にかかる費用の負担軽減や環境負荷の低減に貢献する機器性能上の配慮をする。

4 設置対象施設

対象となる範囲は、図面（4枚）のとおりとする。

5 事業概要

- (1) 事業名 芽室町中央公民館空調設備設置事業
- (2) 概要 1～3階の対象範囲に空調設備を設置する。
- (3) 事業の範囲及び内容
 - ① 実施要領及び要求水準書に基づく実施設計業務（アスベスト事前調査を含む）
 - ② 実施設計に基づく空調設備設置工事（空調設備の導入に伴う一切の工事を含む）
 - ③ 実施設計に基づく受変電設備改修工事

6 適用法令及び基準等

受注者は、本業務の遂行にあたって、次に掲げる各項目を遵守すること。

(1) 関係法令などの遵守

騒音規制法、振動規制法、建築士法、建設業法、建築基準法、計量法、消防法、電気事業法、下水道法、労働基準法、労働安全衛生法、建築物における衛生的環境に関する法律、建築物のエネルギー消費性能向上に関する法律、大気汚染防止法、国等における環境物品等の調達の推移等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関連法令などを遵守すること。

(2) 適用基準

関係法令のほか、以下①～⑥の基準類を標準仕様として適用すること。ただし、一般的な工法として民間で主流となっている仕様については、町と協議してその適用を決定する。

① 共通

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ア 公共建築設計業務委託共通仕様書 | イ 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 |
| ウ 官庁施設の環境保全性基準 | エ 官庁施設の防犯に関する基準 |
| オ 公共建築工事積算基準 | |

② 建築

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ア 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） | イ 建築構造設計基準、建築構造設計基準の資料 |
| ウ 建築工事標準詳細図 | |

イ 検査を行う場所及び日時は、受注者からの通知後、検査員が決定する。検査日は、当該通知を受けてから14日以内とする。

ウ 検査に合格しなかった場合、直ちに是正して再検査を受けなければならない。

- ③ 部分引渡しがある場合は、指定管理者などに機器の取扱い、操作方法などの指導に必要な技術者を派遣し説明を行うものとする。同説明内容については、「維持管理業務検討書」（書式については、国土交通省「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」による。）により書面に分かりやすくまとめ、監督員へ提出すること。

④ 引渡し

ア 完了検査に合格したときは、町の指示に従い工事目的物を引き渡さなければならない。

イ 建物引渡し後も1年間は町の求めに応じ、建物の各設備などの調整を行うこと。

⑤ その他

検査員による検査に際しては、現場責任者等、監督員が指名する者を同席させること。

(6) 全体工程表

- ① 契約締結後、業務着手から業務完了までの全体工程表を町に提出すること。
- ② 全体工程表は、調査設計及び工事の進捗に合わせて、各業務が必要な時期に適切に行われるよう、相互の関連性を検討し記載すること。
- ③ 提出した全体工程表を変更する必要がある場合、監督員等に報告するとともに、業務に支障がないよう適切な措置を講じること。

(7) 関連工事等に係る注意事項

- ① 町が発注する業務上密接に関係する関連工事等について、その工事が円滑に施工できるよう積極的に協議・調整をすること。
- ② 空調設備設置に伴う据付のための基礎工事、下地補強工事などについては、遺漏のないよう注意すること。
- ③ 町は、関連工事等の内容及び図面等を必要に応じて、通知又は貸与する。

(8) 提出書類

- ① 町が指定した様式により、関係書類を遅滞なく提出すること。
- ② 町が様式を指定していない場合、受注者において様式を定め監督員の確認を受けること。
- ③ 監督員が提出を指示した書類は、各工種（電気設備、機械設備）に分けて提出すること。
その場合の部数は監督員の指示によるものとする。

7 要求水準書等の変更

(1) 町による変更

町は、工期中に次の事由により要求水準書等の見直し及びその変更を行うことがある。

- ① 法令等の改正により、業務内容が著しく変更されたとき。
- ② 災害、事故等により、特別な業務内容が常時必要なとき又は業務内容が著しく変更されたとき。
- ③ 町の事由により、業務内容の変更が必要なとき。
- ④ その他、業務内容の変更が特に必要と認められるとき。

(2) 要求水準の変更手続

町は要求水準書を変更する場合、事前に事業者へ通知する。要求水準書の変更に伴い、事業契約書に基づき事業者へ支払う対価を含め、事業契約書の変更が必要な場合は、必要な契約変更を行うものとする。

8 要求水準書に記載のない事項

本要求水準書に記載のない事項は、関係法令等を遵守したうえでの事業者の提案による。

第2章 空調設備要求水準

1 設計業務

(1) 業務の対象範囲

事業者は、本要求水準書に基づき、施設を整備するために必要な実施設計を行い、各官公庁等への必要な手続き等は事業者が実施する。また、事業者が必要と判断する調査がある場合は、自らの費用で調査を行うこと。

(2) 一般的要件

- ① 空調設備は図面の対象範囲に、(4) に定める能力を有するものを1台以上設置する。
- ② 運転に関して有資格者等の常駐を必要としない方式を採用する。
- ③ 設計図書等にはJIS条件により運転した場合の機器能力で表記する。
- ④ 屋内外露出配線で、金属管配線とした場合は塗装を施す。
- ⑤ 屋外キュービクル又は電気室及び校舎間、校舎相互間等を横断する配線は、原則として、地中管路を使用する。やむを得ず、かつ町が承諾した場合は、関係者等の手の届かない架空対応も可能とする。
- ⑥ 空調設備には、既存設備との区別を明確にするために、色分シール等を堅固に取り付け、標示する。特に、配管等を含めた共用設備について、既存設備分と本事業による整備分が明確区分できるよう配慮する。
- ⑦ 空調設備の設置に伴い、既存照明器具を撤去及び一時移設し、新たな器具を設置する場合は、既存器具の安定器のPCB含有を確認し、結果を報告するとともに、含有なしの場合は処分、含有あり、もしくは不明の場合は町の指示に従い移管する。
- ⑧ 室外機、各種配管等の設置に際し、障害物がある場合は、町の指示に従い、事業者が移設、または機能復旧させることを原則とする。
- ⑨ 既存樹木が支障になる場合は、町及び指定管理者の承諾を得て、撤去、移植または枝払いを行うことができる。
- ⑩ 室外機、配管等の設置にあたっては、設置位置や周辺の利用状況を勘案し、必要な安全対策、積雪対策、防球対策、防音対策、防振対策（共振対策を含む）及び排熱対策等を講じる。
- ⑪ 配管等のコンクリート壁の貫通は原則認めない。ただし、構造上支障のない場合は、この限りでない。
- ⑫ 配管等が外壁の窓ガラスを貫通する場合には、既存ガラスを撤去したうえで耐食性のあるアルミパネル等の金属パネルを取付け、室内・廊下間の窓ガラスを貫通する場合は、既存ガラスを撤去したうえで、ポリカーボネート等のパネルを取り付けるとともに、窓が開かない

ように対策を行う。なお、窓の改修にあたっては、室内の採光及び自然換気に必要な開口部の面積を確保するとともに、非常用進入口に代わる開口部を確保する。

- ⑬ 配管等によって既設カーテン等が全閉状態とならなくなった場合には、当該箇所に開閉可能なカーテンを設置する等、対象室の冷房エネルギーの削減を図るとともに適切な光環境を確保する。

(3) 運転管理方式

空調設備は、各室単位での個別運転とする。

(4) 機器要件 (空調設備)

室名	冷房能力
1階会議室	7.1 (2.0～8.0) kW程度とする。
1階リハーサル室	10.0 (3.7～11.2) kW程度とする。
1階ホール・展示ホール	25.0 (6.8～28.0) kW程度とする。
2階研修室	7.1 (2.0～8.0) kW程度とする。
2階図書室	10.0 (3.7～11.2) kW程度とする。
2階会議室1,2	7.1 (2.0～8.0) kW程度とする。
3階和室研修室	4.5 (1.9～5.0) kW程度とする。
3階調理実習室	10.0 (3.7～11.2) kW程度とする。
3階美術・工芸室	10.0 (3.7～11.2) kW程度とする。

(5) 計画及び報告

① 設計体制と主任技術者の設置・進捗管理

設計業務では、主任技術者を配置し、設計の進捗管理を実施すること。なお、設計着手前に次の書類を提出し、町の承認を受けること。

ア 設計業務着手届

イ 配置技術者届 (設計経歴書添付のこと)

ウ 担当技術者・協力技術者届

② 業務計画書及び設計業務完了届の提出

設計業務着手前に工程表を含む業務計画書を作成し、町に提出し承諾を得ること。業務計画書に基づき定期的に町に対して進捗状況の報告を行い、必要に応じて指定管理者と意見交換を行いながら、設計を進めること。

③ 設計図書

設計終了時に、下記に示す設計図書等を町に提出し承諾を得ること。町は提出された設計図書等について法令・要求水準書との適合について確認し、疑義のある場合は質疑を行う。

なお、工事は町の承諾後に着工できるものとする。設計図書等の承諾までの期間を十分に考慮すること。

- | | |
|------------------|---------------|
| ア 実施設計図 (JW-CAD) | イ 見積書比較表 |
| ウ 数量調書 | エ 工事費内訳明細書 |
| オ 空調設備機器リスト、カタログ | カ 許可等申請、各種届出等 |
| キ 設計業務完了届 | |

④ 設計変更について

町は、必要があると認められる場合、事業者に対して、工期の変更を伴わずかつ事業者の提案を逸脱しない範囲内で、本施設の設計変更を要求することができる。この場合の費用負担については、事業契約書に定める。

⑤ 着工前業務

着工に先立ち、指定管理者との調整を十分に行い、了解を得ること。

(6) その他

- ① 設計にあたっては、既存の建物や設備機器、配管等への影響に十分配慮する。
- ② 将来の維持管理、機器更新、その他の工事を考慮し設計を行う。
- ③ 将来、想定される改修工事の際、空調環境の中断が生じないように配慮し、町と十分に協議のうえ、機器の配置や配管ルートを決定する。
- ④ アスベスト事前調査を行うこと。

2 施工業務

① 業務の対象範囲

各種関係法令等を遵守し、本要求水準書、実施設計書に基づき工事を行う。

② 計画及び報告

ア 工事実施体制と主任技術者の設置・進捗管理

- ・施工業務においては専任の主任技術者又は監理技術者を配置すること。(現場代理人、監理技術者と兼任可)

イ 着工前の提出書類

工事着手前に詳細工程表を含む施工計画書を作成し、次の書類とともに提出し、町の承認を受けること。必要部数、データ形式等は町の指示に従うこと。また、施工状況を町に毎月報告するほか、町が要請した場合は、施工の事前説明及び事後報告を行うこと。

なお、必要に応じて法律等に定められた手続を行うこと。この場合において町が申請者となる手続については、町の委任を受けて行うこと。

- ・着工届
- ・工事工程表
- ・配置技術者届
- ・施工計画書及び工種別施工要領書
- ・上記全てのデジタルデータ一式

※提出書類は、施工企業が町に提出するものとする。

③ 施工中の提出書類

事業者は、施工期間中に次の書類を、遅滞なく町に提出すること。

- ア 下請人選定通知書
- イ 退職金制度届出書、建設業退職金共済制度掛金収納届出書
- ウ 工事打ち合わせ記録
- エ 工事週報
- オ 承諾願
- カ その他必要書類
- キ 上記の全てのデジタルデータ一式

④ 完成時の提出書類

施工業務の完成時に次の資料を提出し、町の承諾を受けること。必要部数、データ形式等は町の指示に従うこと。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ア 工事完成届 | イ 完成写真及び工事写真帳 |
| ウ 実施工程表 | エ 完成図面（黒表紙金文字・A3二つ折製本） |
| オ 品質管理図、各種試験成績表 | カ 空調設備機器・備品リスト |
| キ 機器操作マニュアル | ク 空調設備機器・備品カタログ |
| ケ 廃棄物マニフェスト | コ 廃棄物マニフェスト集計表 |
| サ 建設発生土等の運搬集計表 | シ 要求水準書との整合性の確認結果報告書 |
| ス その他施工管理記録 | セ 上記全てのデジタルデータ一式 |

⑤ 工事期間中業務

- ア 各種関係法令等を遵守し、設計図書及び施工計画書に従って工事を行うこと。
- イ 事業者は、工事現場に工事記録を常備すること。
- ウ 工事が周辺の生活環境に与える大気、騒音、振動、悪臭、地盤沈下、電波障害及び車両の交通障害等の諸影響についてあらかじめ検討、調査し合理的に要求される範囲の対策を施すこと。また、町に対して事前及び事後にその内容及び結果を報告すること。
- エ 工事中においても、工事を円滑に推進できるように、指定管理者に必要な工事状況の説明及び調整を十分に行うこと。
- オ 周辺その他から工事に関する苦情が発生しないよう注意するとともに、万が一発生した苦情その他については、事業者の責任において、工程に支障をきたさないよう適切に対応し処理すること。
- カ 工事車両の通行については、あらかじめ周辺道路の状況を把握し、事前に道路管理者等と協議し、運行速度、交通誘導員の配置、案内看板の設置、車両のタイヤの洗浄、道路の清掃等、十分な配慮を行うこと。
- キ 工事現場内の事故災害の発生に十分留意するとともに、周辺地域へ災害が及ばないよう万全の対策を施すこと。
- ク 工事期間中は既存の施設等、周辺の他事業の運営に支障をきたさないよう十分配慮し、影響が予測される場合には直ちに町と協議すること。
- ケ 町は、事業者が行う工程会議に立ち会うことができるとともに、いつでも工事現場の施工状況の確認を行うことができるものとし、事業者はこれに協力するものとする。
- コ 工事により発生した廃材等のうち、その再生が可能なものについては、積極的に再利用を図ること。
- サ 工事期間中においても、周辺環境に配慮し敷地内の草刈や除雪等適正な管理を行うこと。
- シ 夜間に工事を行う場合は町及び指定管理者と協議し承諾を得ること。
- ス 騒音が発生する作業を行う場合は町及び指定管理者と協議し承諾を得ること。

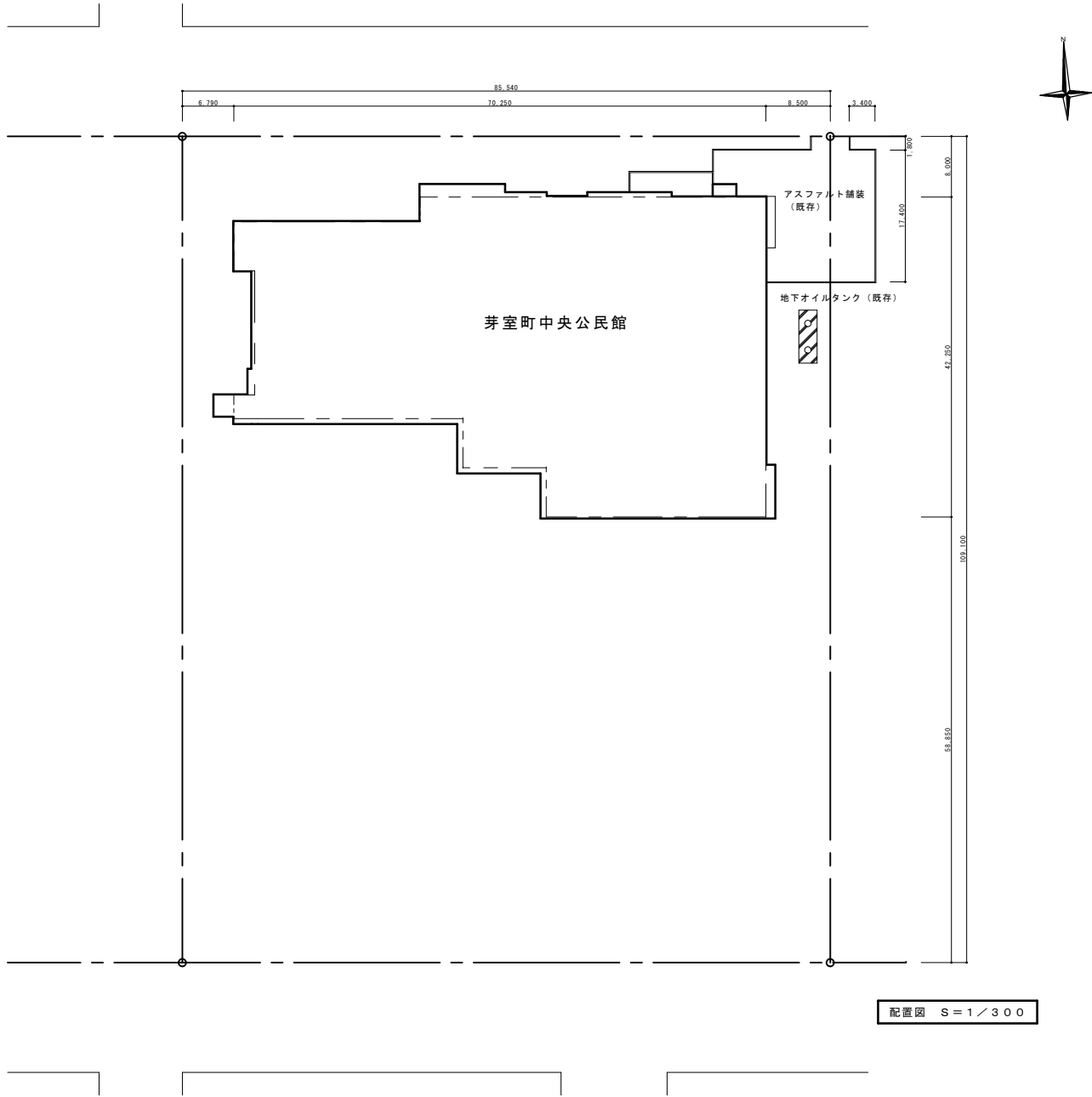
⑥ 完成時業務

- ア 事業者による自主完成検査
 - ・事業者の責任及び費用において、自主完成検査として空調設備の試運転及び不具合がないことを確認すること。
 - ・事業者は、町に対して空調設備の試運転の実施結果を報告すること。
- イ 町の完成検査確認
 - ・町は、事業者による自主完成検査及び空調設備の試運転の終了後、完成検査を実施する。

- ・町は、事業者及び施工企業の立会いの下で、完成検査を実施する。
- ・完成検査は、町が確認した設計図書との照合により実施するものとする。
- ・空調設備の使用方法について操作運用マニュアルを作成した上で、町に提出し説明すること。
- ・町の行う完成検査の結果、是正改善を求められた場合、速やかにその内容を是正し、再検査を受けること。
- ・町による完成検査後、是正改善事項がない場合は、町から完成検査合格の通知を受けるものとする。

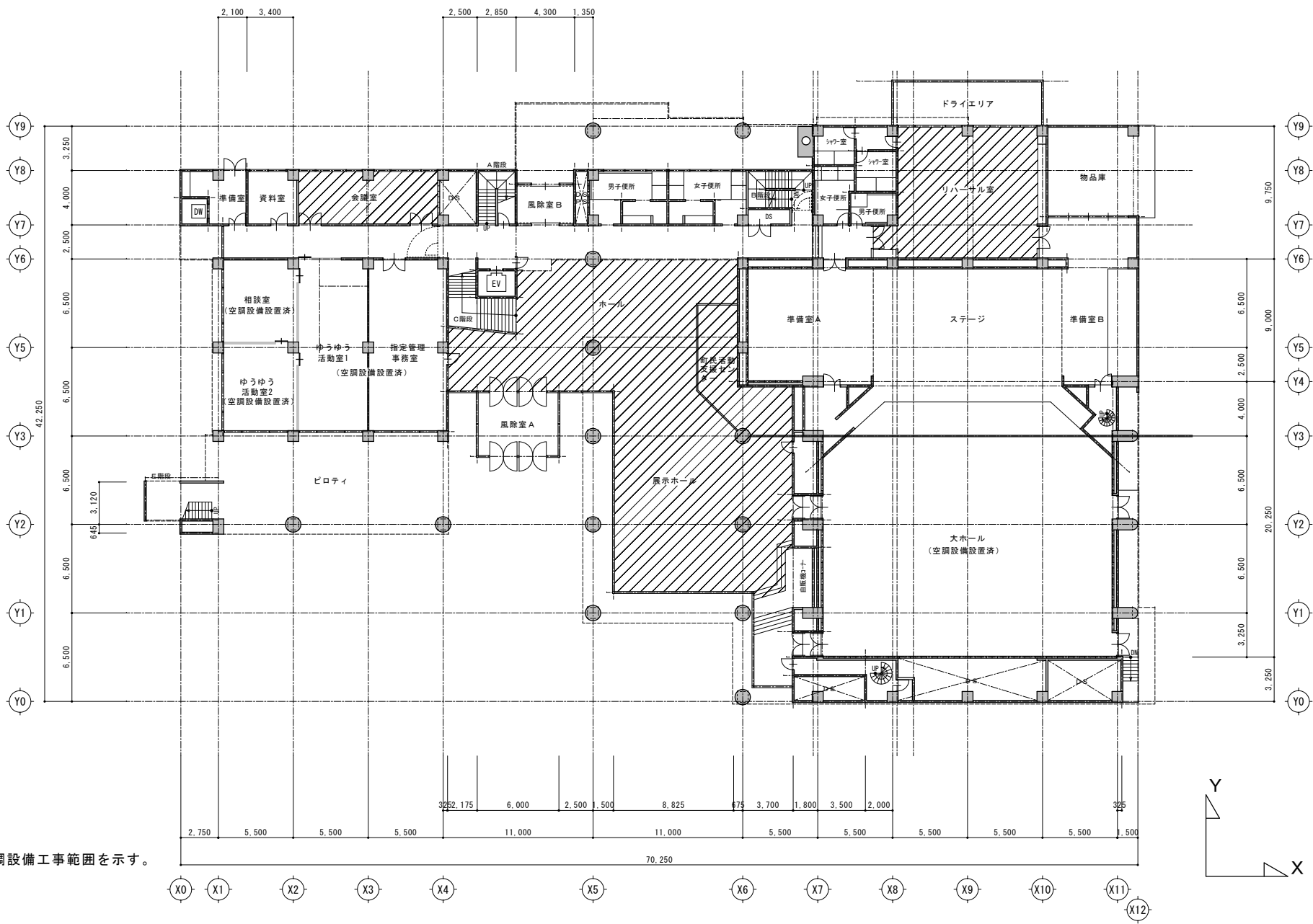
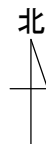


案内図

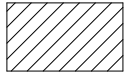


配置図 S=1/300

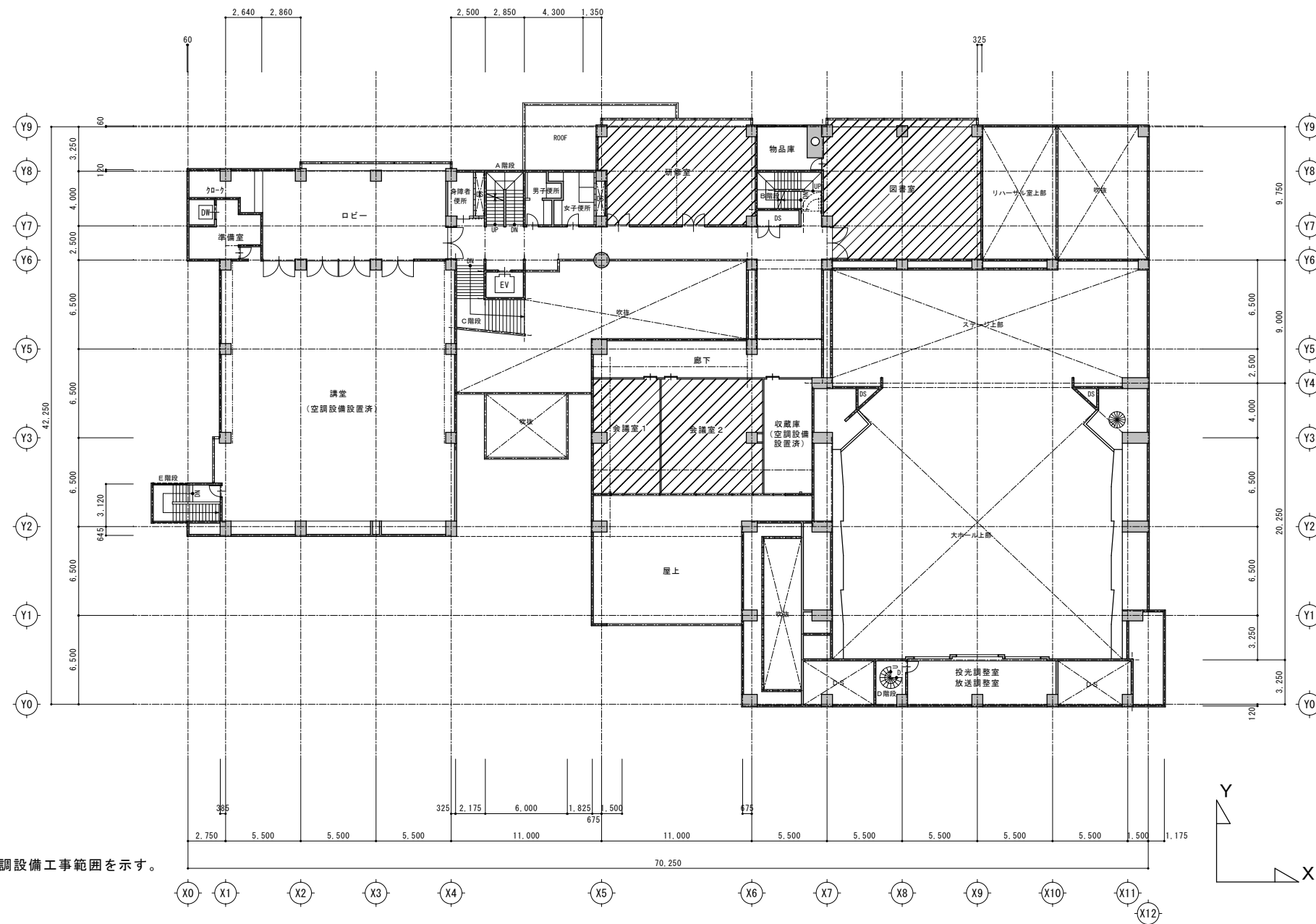
記事	芽室町	都市経営課 都市経営係 芽室町東2条2丁目14番地 TEL 0155-66-5961 FAX 0155-62-4599	設計年月日 令和6年4月 日			工事名 芽室町中央公民館空調設備設置事業	縮尺 NO SCALE	総数 4
			設計	製図	担当			

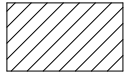


凡例

 空調設備工事範囲を示す。

記事	芽室町	都市経営課 都市経営係 芽室町東2条2丁目14番地 TEL 0155-66-5961 FAX 0155-62-4599	設計年月日 令和6年4月	工事名	芽室町中央公民館空調設備設置事業			総数	4
			設計	製図	担当	図名	縮尺	NO SCALE	図面番号



凡例
 空調設備工事範囲を示す。

記事	芽室町	都市経営課 都市経営係 芽室町東2条2丁目14番地 TEL0155-66-5961 FAX0155-62-4599	設計年月日 令和6年4月	工事名	芽室町中央公民館空調設備設置事業			総数	4
			設計	製図	担当	図名	縮尺	NO SCALE	図面番号

